

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第376回

大村あつし

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年12月15日

編集委員：入試広報室 鈴木

## 今回の言葉

進歩しなければ逆戻りもできません。

すなわち、逆戻りとは、自分が進歩している証であり、成功に着実に近づいているからこそ経験できる試練なのではないでしょうか。

大村 あつしは、日本の小説家、ITライター、AI研究者。静岡県富士市出身。静岡県立富士高等学校卒業、静岡大学人文学部経済学科卒業。



## Column

彼の言葉で有名なものは『そもそも人生に失敗なんてないんだ。もし、人生に唯一、失敗があったら、それは“失敗すらできない”ことだ。』という言葉があり、今回の言葉に近いような、繋がっているような印象を受けました。

私が中学生の頃、部活顧問の先生に『陶芸家の人は、手間ひまかけて焼き上げた作品であっても、自分の中で納得のいく仕上がりでなければ何度でも粉々に割ってやり直す。“こだわりを持つ”というのはそういうことなんだよ!』と話をしてもらったことがあります。その時は“そんなに自分に厳しくできないな…”とと思っていましたが、徐々に今回の言葉のように自分を励ましたり辛いと感じる状況をポジティブに変換して受け止められることが増えていきました。

進歩、成長といった向上するというイメージは、自分が設定している目標やゴールに“最短で”近づいている状態だと感じます。しかし、今回の言葉では“逆戻り”であっても進歩している証だと説いています。目標設定の時点で間違っているのであれば修正し、違う目標を設定する必要があると思いますが現在高校生であるみなさんは、例えば“〇〇大学に合格!” “全国大会に出場する!” など、間違いなくポジティブで明確な目標を設定できる世代だと思います。成功（目標達成）のためにできることは、もちろん最短距離で進むルートや課せられたミッションをクリアする方法を見出すことが重要ですが、そのひとつ手前にある『動く』ということが最も重要なのだと改めて感じました。

様々なイメージを膨らませて“これでいけるんじゃないか?”と思ったことに躊躇なく動き出せる思い切りの良さ。きっと正智深谷高校のみなさんは持っていると思います! ポジティブなチャレンジを!